

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2013

5

今年の交通安全年間スローガン一般部門(内閣総理大臣賞)

スマホ手に 車や自転車 事故のもと



(相模川に泳ぐ鯉のぼり:相模原市中央区高田橋付近)



自転車はどこを走ったらいいの...? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリン・スクール

を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(25年4月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成25年		10,797	49	12,853
平成24年		11,607	47	13,788
増減数		-810	+2	-935
増減率		-7.0	+4.3	-6.8

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,061,378	4,534,635	4,526,743
免許人口	5,551,176	3,225,697	2,325,479
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成25年4月1日、免許人口は平成25年3月末現在)

春の全国交通安全運動実施結果

春の全国交通安全運動期間(4月6日(土)から15日(月)までの10日間)中の交通事故の発生状況については、発生件数、負傷者数ともに減少しましたが、死者数は前年と同数でした。死者4人のうち3人が自転車利用の高齢者で、1人は小学校4年生の児童でした。

◆期間中の県下の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本年	877	4	1,029
前年同期比	-91	±0	-86
増減率(%)	-9.4	±0.0	-7.7

◆期間中の全国の交通事故死者数、ワースト順位

順位	①		③	④			⑥					全
	鹿 児 島	岐 阜	埼 玉	千 葉	兵 庫	青 森	福 島	栃 木	神 奈 川	茨 城	東 京	
死者数	7	6	6	5	5	4	4	4	4	4	4	105
前年同期比	+6	+5	+4	+2	+1	+3	+1	+1	±0	-1	-4	-13

◆4/10「交通事故死ゼロを目指す日」



(ティッシュ)

各地区交通安全協会では、警察署、交通関係団体と連携し、タレントなどに1日警察署長を委嘱してのオープンカーによるパレード、学校、駅前におけるイベント・キャンペーンのほか、商店街や主要交差点等において通行者(車)にポケットティッシュ等のグッズを配布するなど、「交通事故死ゼロを目指す日」を周知するとともに、交通安全を呼びかけました。

※4/10 本県の交通事故死者数1人(全国8人)



(栄交通安全協会)

九都県市一斉 自転車マナーアップ強化月間

1 目的

自転車の交通事故を防止する運動を県民総ぐるみで展開し、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、自転車の交通事故防止の徹底を図ります。

2 期間

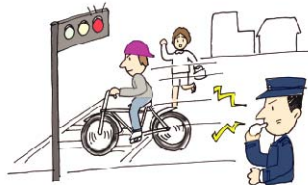
平成25年5月1日(水)～5月31日(金)

3 スローガン

自転車も のれば車の なかまいり

4 重点

交通ルールの遵守とマナーの向上



(スケアードストリート:

青葉交通安全協会)

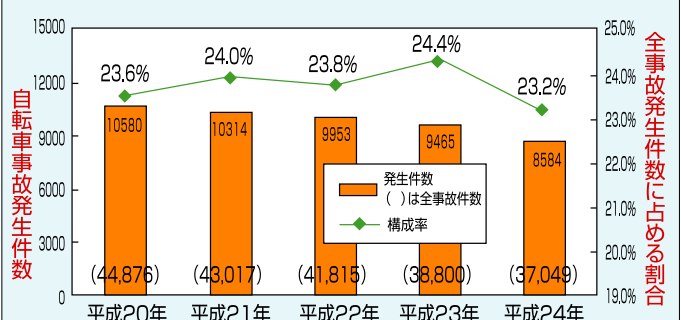
5 交通安全協会の推進事項

●キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。

●交通指導員や各種団体構成員による街角アドバイスを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。

《県警察～自転車の取締り強化中》 昨年1年間の自転車利用者の交通事故死者数は、17人(前年比-5人)。今年は4月末現在で9人(前年比+8人)という厳しい状況で、相変わらず自転車利用者の悪質な交通ルール違反が後を絶たないことから、県警察では、「警告」から「罰金」等の対象となる「赤切符」を交付して取締りを強化しています。昨年1年間の赤切符による取締り件数は2件でしたが、今年は4月末現在で信号無視127件等199件を検挙しています。自転車も「くるま」、甘えは許されません。

◎自転車事故発生件数と全事故に占める割合の年別推移(平成20年～24年)



●自転車事故発生件数は年々減少していますが、全事故発生件数に占める割合は横ばい状態で推移しています。

《子ども自転車大会への取り組み》

相模原交通安全協会事務長 柏木ゆき

子ども自転車神奈川大会への出場は、今年で8年目になります。

当協会の武隈正雄副会長が横山支部長のときに、横山小学校の校長先生をはじめ先生方のご理解を得て、相模原市セーフティサイクルフェアに参加し、好成績を収めたことが、きっかけとなりました。

それからずっと武隈さんが監督を務め、横山小学校の全面的な協力と保護者の理解を得て、子ども自転車大会への参加を続けてまいりました。学校ではまず、運動能力や継続性を考慮して、選手の人選を行います。放課後の練習には教頭先生にも立ち会っていただいております。

交通安全協会としては、監督に全面的に任せしておりますが、練習前と大会後に、協会長と相模原市、中央区、相模原警察署の担当者が揃って学校にあいさつに向向いております。選手が決定し、毎日の練習が始まりますと監督は毎日、18ある支部から、交替で2名ずつ、練習の指導に当たります。

練習中は、当協会の会長、区長、警察幹部などからも選手達の激励に来ていただいております。

監督によりますと、特別な練習方法はありませんが、ちよつとした気の緩みから思わぬ事故が起きることがありますので、真剣に取組むよう、特に気を配っていただけることでした。また、お互いの練習を見ながら批評し合い、意欲、向上心を培っていることでした。

大会に向けて上位を目指すのは当然ですが、はじめは落ち着きのなかった子どもたちが毎日毎日練習を積んでいくうちに、つ

つできるようになっていき、自信につながっていきます。大会本番、ほとんどが緊張して練習どおりにできず、泣きながら悔しがり

ますが、終わってみれば自分たちは精一杯やっただという達成感と、自分一人の力ではなく、みんなの協力で成し遂げることが出来たんだという連帯感が、監督、子どもたち、先生、保護者たちにも生まれてきます。

学校によりますと、大会終了後の二学期から毎週水曜日を「横小交通安全日」として、昼の給食時間を利用して「自転車の安全な乗り方、交通事故防止」等の放送を大会出場選手により実施しているそうです。このように学校全体で交通安全について取り組む、その事故防止効果は大きいと思います。

また、昨年は第1回高齢者自転車大会で相模原チームは3位に入賞しました。これも子どもたちにはプラス効果になっているものと思われま

す。子どもたちが自転車大会や日頃の練習を通して目に見えて成長することが、ボランティアや精神旺盛な監督や関係者の喜びであると感

じています。



自転車には「TSマーク」を！
～もしもの時に備えて～

自転車に関する事故の高額賠償事案が増加しています。自転車整備店で自転車安全整備士による点検・整備を受けると、安全な普通自転車として「TSマーク」が貼付されます。「TSマーク」には、通称「赤マーク」と「青マーク」の2種類があり、傷害保険と賠償責任保険が付いて、最高2,000万円まで補償されます。この保険は付帯保険ですので、自転車を借りた人も保険の対象になります。TSマークの有効期間は、1年間ですので点検・整備をして毎年更新しましょう。

TSマークの種類と付帯保険の補償内容	
 <p>第一種TSマーク (赤マーク)</p>	 <p>第二種TSマーク (青マーク)</p>
○入院15日以上 (一律) 1万円 ○死亡・重傷後遺障害 (1～4級) (一律) 30万円	○入院15日以上 (一律) 10万円 ○死亡・重傷後遺障害 (1～4級) (一律) 100万円
○死亡・重傷後遺障害 (1～7級) (償額) 1,000万円	○死亡・重傷後遺障害 (1～7級) (償額) 2,000万円

平成25年度 [第1回二輪車安全運転講習] 開催
[第1回グッドライダーミーティング]

初心者から日常的にオートバイを運転している方々を対象に、「基本の再確認・安全運転に対する意識付け」を目的とした体験型講習を通じて安全運転技能の向上を図るとともに、自己の技量を把握させ、二輪車事故の危険性を認識させることで、交通ルールの遵守とマナーを重んじるグッドライダーを育成し、二輪車事故の防止を図るために開催されるものです。



今年度の第1回講習として、4月13日(土)県警察本部が主催した二輪車安全運転講習には59名が、4月20日(土)県二輪車安全普及協会が主催したグッドライダーミーティングには42名が、それぞれ参加して神奈川県自動車運転免許試験場で開催されました。

参加者は、日頃運転している自分の二輪車を持ち込み、入門クラスとステップアップクラスに分かれて、県警白バイ隊員(ホワイトエンジェルス含む)、二輪車特別指導員から乗車姿勢、点検要領等安全運転の基礎知識の講義を受けた後、ブレーキ操作、一本橋、低速千鳥バランス、パイロンスラローム等についてアドバイスを受けていました。

平成25年度の各講習開催日、申し込み要領等については、本誌平成25年3月号をご覧ください。

新任事務長を紹介～よろしくお願ひします～

【抱負】

今年の3月末で神奈川県警察を退職し、4月1日付けで川崎臨港交通安全協会の事務長として就任しました紺野でございます。川崎臨港警察署には警察学校を卒業した昭和46年に1年間、新任警察官として勤務した経験があります。当時は、成田闘争が激しかった頃で年間の半分は首都高速道路の大師料金所、浜川崎ランプの警戒員として昼夜、激務を成し遂げた思い出があります。



川崎臨港交通安全協会
紺野 敏秋事務長

今回、前事務長が親の介護のため帰省（鹿児島）するということで、縁があってその後任として勤務することになり責任の重大さを痛感しているところです。

川崎臨港地区といえますと、自動車排気ガス等の問題で知られる産業道路を境に京浜工業地帯と住宅、商業地域で形成されております。このような特殊性から各季の交通安全運動では会社、事業所や町内会の方々が悲慘な交通事故防止のために街頭指導に当たっております。これからも、警察署との連携を密にとり、また、事務局の職員、川崎臨港交通安全協会役員をはじめ、関係団体の皆さんと一体となって交通安全活動に取り組んでいく覚悟でおります。

【プロフィール】

岩手県出身で妻と一匹の犬（ミニチュアダックスフンド、♀、6才）と暮らしております。趣味はジョギングで、時間があれば肥満防止と健康維持のために汗を流しております。

【抱負】

本年4月1日から麻生交通安全協会事務長に就任しました東です。

平成23年3月に麻生警察署で定年退職後、引き続き再任用により2年間勤務させていただきましたが、このたび当協会にお世話になることになりました。



麻生交通安全協会
東 正人事務長

警察に在職中は、主に交通課で勤務し、中でも交通総務係で交通規制を長年にわたり担当してまいりました。事務長就任に当たりましては、大役であるが故の不安が相当にありますが、交通事故への対応や地域住民の要望等に対する交通規制実務の経験者として、麻生区内の交通情勢を熟知しているという唯一の利点を最大限に生かし、地域における交通安全思想の普及高揚及び交通安全の推進と交通事故防止に微力ながら努めてまいります。

麻生区の交通事故情勢は、昨年は前年に比較して発生件数こそ減少しているものの、死者数、負傷者数は増加しています。幹線道路上の交通事故が発生件数の約3割を占め、一般道路では相変わらず、二輪車、自転車、歩行者の事故が多発しています。

そこで、これらの交通情勢に対処するため、警察及び県・市のご指導の下に関係機関・団体等と連携を図りつつ、効果的な交通安全諸対策を積極的に推進し、区民の交通安全意識の高揚を図る必要があると考えています。

【プロフィール】

出身地は宮崎県都城市で、高校卒業後に上京しました。大学卒業後、民間会社を経験して昭和52年に神奈川県警察官を拝命しました。現在は、東京都新宿区に妻と二人で暮らし、趣味は旅行と園芸です。広い庭がないため、狭いスペースに工夫してプランターを並べて花作りを楽しんでいます。

健康だけが取り柄のような私ですが、最近、太り気味なので好きな酒の量を減らし、ダイエットに励んでいるところです。

第15回セーフティ・チャレンジ・かながわ
無事故・無違反コンクール

参加チーム募集中

- ◆ 参加区分
一般チーム・年齢を問わず参加資格を有する
- ◆ 参加資格
・県内在住・在職・在学中
・たは仕事等のため県内で自動車等を運転する者3人で構成するチーム
・チーム全員が各都道府県公安委員会の自動車運転免許（国際免許を除く）を受けていること。
- 応募要領
平成25年7月1日（月）～平成25年12月31日（火）
- 申込期間
平成25年4月16日（火）～平成25年6月30日（日）
- コンクール期間
（無事故無違反チャレンジ期間）
平成25年7月1日（月）～平成25年12月31日（火）

このコンクールは、多くの県民の皆様にチーム単位でご参加いただき、6か月間の安全運転（無事故・無違反）にチャレンジしていただく交通安全コンクールです。達成したチームは抽選で旅行券等をゲットするチャンス。奮ってご応募ください。



神奈川県安全防災局
安全防災部くらし安全
交通安全課内
セーフティ・チャレンジ・かながわ実行委員会事務局
045-2103552
(直通)

- ◆ 参加費
1チーム1,800円
（運転記録証明書発行手数料3人分の実費）
※お問い合わせ先（事務局）
神奈川県安全防災局
安全防災部くらし安全
交通安全課内
セーフティ・チャレンジ・かながわ実行委員会事務局
045-2103552
(直通)
- 3人で構成するチーム
シルバートーム：一般チームのうち、平成25年7月1日現在、全員が65歳以上のチーム
※当選発表は、平成26年2月28日（予定）県のホームページ等で行います。

交通事故の悲劇に学ぶ④

●忘れられた責任感 会社員（28歳）

「交通事故を起こすのは、運の悪い人だ」私はそう思ってきました。

交通事故を起こした私は、本当に運が悪かったのでしょうか？

平成20年の7月下旬、早朝。この時期にしては少し肌寒い朝でした。

私は通勤先のスクール事業のイベントで小学生の子供たちを車に乗せ、高速道路を運転していました。運転を始めてから2時間ほどすると、強い眠気を感じました。休憩のためにサービスエリアに寄りたいと思いましたが、最寄りに見えたのはトイレしかないパーキングエリアでした。「ここでは子供たちが退屈してしまうだろう。もう少し走れば大きいサービスエリアがあるはずだ」と考え、そのまま運転を続けました。次第に顔は重くなり、目を開けているのも辛くなってきました。私はあまりの眠気に耐え切れず「少しだけ」目を閉じました。

次の瞬間、気が付くと車は中央分離帯のブロックを乗り越えようとしていました。慌ててハンドルを左に切りましたが、車はバランスを崩し、コントロールを失いました。車は道路の側壁にぶつかり、そして横転しました。

「いったい何が起こったのか…」訳も分からないまま、後ろに乗っていた子供たちの安否を確認しようとした。すると「〇〇君がいない!」という声が、私の耳に飛び込んできました。その子はシートベルトをしていなかったため、壁にぶつかった衝撃で窓を突き破り、車外へ放り出されてしまったのでした。

その後、救急車と警察を呼びましたが、その子は即死でした。他の子供たちも怪我をしていたので、救急車で搬送され、私も子供たちとは別の病院へ搬送されました。

その日のうちに、勤務先の上司が病院に迎えに来てくれ、亡くなった子のご遺族のところへ一緒に謝罪に行きました。私の謝罪に対し、ご遺族の方々は怒りを通り越して呆れ果てているといった様子でした。そして、子供の命を守れなかったことに対して、私ではなく、ご自身を責めていました。

その後、お通夜、お葬式、お盆、毎月命日とご遺族の自宅を訪問し、謝罪をし、ご焼香をさせていただきました。

私は、自動車運転過失致死傷罪により、禁固2年の実刑判決を言い渡されました。

しかし、私には一つの疑問がありました。

「悪いのは私だけなのか。毎日毎日休みなく仕事をして。あの日も自分一人で子供たちを送迎し、休憩を取りたくても取れなかった。会社にも責任はあるんじゃないのか？ なぜ会社の責任は問われないのか!」

私は、この疑問に執着し、控訴しました。しかし、控訴審でも判決が変わることはありませんでした。

刑務所に入り、2ヶ月ほど独居房で過ごしました。その間、自分が今までどれだけ多くの人たちに支えられて生きてきたのか、ということに気が付きました。そしてまた、これまでの私が、どれだけ自分勝手に無責任なものであったかにも気が付きました。自分のやりたいことだけをして、嫌なことは見て見ぬふり。上手くいけば自分の力、都合が悪くなれば他人のせい。本当

に自分勝手に生きてきたのだと痛感しました。市原刑務所に移送され、様々な教育プログラムを受ける中で、今回の事故がそんな自分の無責任な考え方が引き起こしたものだということに気が付きました。「車を運転する」ということは、人の命を預かってハンドルを握っているということ、人の命を守る責任があるということなのです。車の運転に慣れ、そんな当たり前なことさえも気付くことができなくなってしまっていたのです。

運転に対する責任感をしっかりと持っていれば、事故を起こさないための準備をもっとしっかりとできていたはず。眠気覚ましや前日の体調管理、休憩場所の確認など、やらなければいけないことに気が付いてはいたはず。また、シートベルトの着用もドライバーの責任としてやらなければならないことでした。私は、口頭でシートベルト着用を促しただけでした。同乗者、しかもそれが子供であればドライバーが自らの手でシートベルトの装着をしなければいけません。シートベルトの着用をしっかりとさせていけば、最悪の事態は防げたはず。

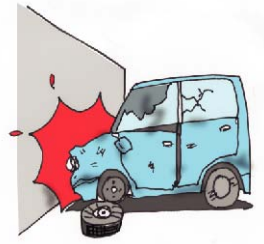
交通事故は、一瞬の判断ミスで起きるものでもなければ、運が悪くて起きるものでもなかったのです。日頃の行動の積み重ね、車を運転する人の意識によって、起こるべくして起こるものだったのです。

私の犯した罪は、被害者ご遺族を一生苦しめ続けてしまいます。決して許されることはありません。しかし、私にできることは、誠意を持って謝罪を続けていくこと、ただそれだけです。今後10年、20年、一生をかけて自分の犯した罪を反省し、奪ってしまった命と、苦しめ続けているご遺族がいることを忘れずに生きていくことだと思っています。そして、私自身が更正し、社会に貢献できるような人間になることが償いになるのではないかと考えています。

私の償いの第一歩として、このたび、この手記を書かせていただきました。

私のような無責任な気持でハンドルを握るドライバーが少しでも減ること、そして悲惨な交通事故が少しでも減ってくれることを心から願っています。

—(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第46集)」から—



インフォメーション

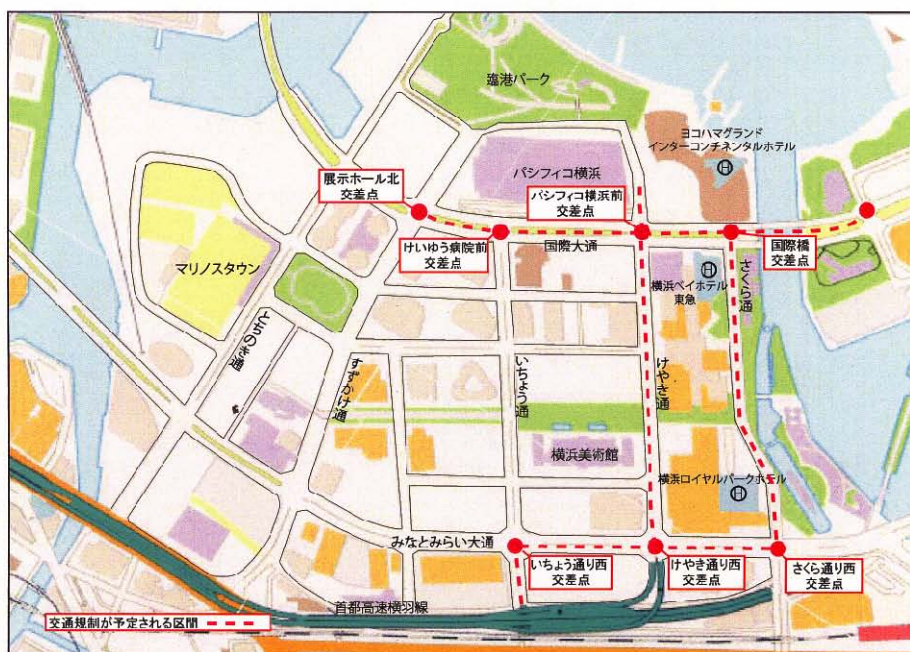
- 二輪車交通事故防止及び暴走族追放強化月間 6月中
- 第3回評議員会 ————— 6/20
- 自転車県大会チーム責任者会議 — 6/27
- 地区事務長会議 ————— 6/27

交通規制のお知らせ

第5回アフリカ開発会議【TICAD V】が開催されます。

5月31日(金)～6月3日(月)

会議開催に伴い、みなとみらい地区の会場周辺において、交通規制と検問が行われます。



会議開催に伴い、みなとみらい地区は混雑が予想されます。自動車の乗り入れを控え、交通渋滞緩和に御協力をお願いします。

問い合わせ先 神奈川県警察本部交通管制センター
tel 045-211-1212

神奈川県警察



賛助会員のご紹介

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)KANTOモータースクール ————— 横浜市西区南軽井沢
- 神奈川県福祉事業協会 ————— 横浜市神奈川区鶴屋町
- (株)ジャパンビバレッジセントラル横浜南支店 ————— 横浜市保土ヶ谷区今井町
- (株)根岸の旗や ————— 横浜市中区伊勢佐木町
- (株)tvkコミュニケーションズ ————— 横浜市中区太田町

この人

90



横浜水上交通安全協会
会長
高橋 幹雄さん



横浜水上交通安全協会は昭和35年3月に発足し、中区山下町の山下埠頭内の横浜港運会館2階に事務所を構えています。

当協会のエリア内には、日本の海の玄関口であり国内外の大型豪華客船などが寄港する大規模国際客船ターミナルを中心に、複合型商業施設のワールドポーターズや横浜赤レンガ倉庫などの若者向けスポットがあり、年々観光客も増加する中、横浜国際女子マラソンや世界トライアスロンシリーズ横浜大会などの各種イベントも開催され、年間を通して国際色豊かな賑わいを見せています。

今回はこの協会にて、平成15年から副会長、平成24年6月から会長を勤めます高橋幹雄さんを紹介いたします。

会長は、港湾関係会社の要職にあつてその功績も輝かしく、現

在も忙しく活躍しているにもかかわらず、交通安全活動に対する意欲は旺盛で、腰が低く気さくな人柄と相俟つて、横浜水上警察署員からの信望も厚く、頼りにされています。担当するエリアの97%は水域で、陸地は3%ですが、春と秋の全国交通安全運動では、警察署の警察舟艇に会長自ら乗り込み、海上交通安全パレードを行い、横浜港の海上から山下公園やみなどみらい地区の観光客のほか、埠頭関連事業所従業員等にも交通安全を呼びかけています。もちろん、港内を航行する船舶に対する広報、特にプレジャーボートに対しては、

下船後の飲酒運転を防止するため、「ボートもくるまも飲酒運転禁止」ポスターを配布するなど、飲酒しての操船をしないよう啓発活動を行っています。

また、平成19年1月9日から

「交通死亡事故ゼロ」を継続しており、昨年6月に2,000日を達成、4月1日現在で連続2,274日となりますが、これを更に継続するため、赤レンガパークでキャンペーンを展開したり、開港広場前交差点などで、会長が推進役となつて役員や交通指導員、警察署、交通関係団体等と連携しながら、チラシ配布など恒常的に街頭活動を行っています。

会長は昭和17年地元横浜の生まれで、子どものころは所々に点在した野原を暗くなるまで駆け回り、身体中が傷だらけになりながらも遊び回っていたのです。趣味はゴルフとのことですが、最近はコースに出る機会も少なく、もっぱらテレビ観戦とのこと。健康管理の面では、休日になんかでも多く歩くことを心がけ、毎回、新たな発見を求めて、主に鎌倉方面へ出かけて散策しているそうです。

今後も健康に留意されて、趣味に、仕事に、交通安全活動にご活躍されることを期待しています。

取材協力… 横浜水上交通安全協会

こんにちは
「藤沢市交通安全協会」です

藤沢市交通安全協会は、築28年の2階建てプレハブの建物で、藤沢警察署の真向かいにあります。夏は猛暑と同居し、冬は極寒に耐え忍ぶ過酷な職場環境の中で、あたりまえの季節を感じながら4人の女性職員がお客様の免許更新のお手伝いや写真撮影等の窓口業務に笑顔で活躍しています。

当安全協会前の狭い道路は通学路となっているため、毎日登校する子供達の元気な声が聞こえてきます。春は、子供達にとって卒業式、そして桜満開の入学式のシーズンです。

そんな子供たちに、協会の交通指導

員が交通安全を呼びかけています。ピッカピカのランドセルを背にした新一年生の小さなぐさにご子供たちの元気と希望が感じられます。

この時期当協会では、春の全国交通安全運動と新入学児童・園児を交通事故から守る運動を実施していますが、街頭指導を通じて、この子供たち一人ひとりの交通安全を見守ってあげられること、そこに奉仕の活動をする交通指導員の満足感と同時に使命感が湧いてきます。これが、藤沢市交通安全協会の活動を支えている原動力だと思います。

思えば、年末年始の交通事故防止運動や飲酒運転根絶強化月間での活動時、寒く冷たい夜、雪の降る通勤・通学時間の朝など、交通指導員の皆様の一途に活動している姿



に唯々敬服し、無事故で活動されますようにと心から祈らずにはいられません。

この、皆様方のご活躍に応えるためにも当安全協会が地域社会の交通安全活動に貢献していかなければと思います。そして悲惨な交通事故が発生しない安全安心な交通環境を目指していきたいと思ひます。

(本多 記)

地区交通安全協会の活動紹介



横浜 水上
警察署舟艇4隻に警察、市、安管等の団体員とともに乗り込み、海上交通安全パレードを行い、その後開港広場前交差点に赴き、街頭キャンペーンを展開して交通安全を呼びかけました。



藤沢 北
富田会長と役員が秋葉台小学校を訪問し、瀧澤校長に交通安全ABCファイルを贈呈し、新入学児童の交通安全を呼びかけました。



伊勢 原
上林会長以下役員が高山伊勢原市長を訪ね、教育長立ち会いの下、交通安全ABCファイル等を贈呈し、市対協を通じて各学校に配布交通安全を呼びかけました。



海老名 市
歌手の阿部里種子さんに日警察署長を委嘱し、交通安全パレードを行った後、海老名駅前において、警察署長、市長、高校生73名等とともに同駅利用者に対し、安全運動の周知と交通安全を呼びかけました。



戸 部
春の全国交通安全運動にちなんで、製菓専門学校生徒が交通安全創作ケーキを作製、横浜駅近くの西区センターに展示して可愛らしく交通安全を呼びかけました。



宮 前
宮崎小学校に篠田副会長が赴き、校長先生に新入学児童を対象とした交通安全ABCファイルを贈呈し、入学式当日も通学路街頭監視を行いました。



秦 野 市
教育委員長室で事前にABCクリアファイルの贈呈式を行った後、入学式当日には各小学校に赴き、新入学児童に手渡したことにより、古谷秦野市長からお礼状が寄せられました。



厚木 署管内
安協依知支部員と母の会が協力して、厚木北小学校に赴き、正門前において、登校する新入学児童にABCファイルとフリーケースを渡し、保護者にも併せて交通安全を呼びかけました。

あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

新年度の新たなスタートから早一ヶ月が過ぎた。新入学児童園児を対象とした「春の全国交通安全運動」も各地区で有名人等を招致して、手法を凝らしたイベントやキャンペーンが展開され、大きな成果を上げたところで、初期の目的を達成したのではないかと自負しております。

「春の全国交通安全運動オープンングセレモニー」では、着任したばかりの警察本部長が「交通安全運動は、他人事ではなく自らのこととして主体的に取り組む対策」と挨拶をされておりましたが、当協会の石坂会長も同趣旨の発言をしておりますことから、県交通安全協会としても、さらに主体的に取り組んでいきたいと考えております。

今月は「九都県市二斉自転車マナーアップ強化月間」です。昨今、警察の取締りなどで自転車の絡む交通事故は年々減少しているとはいえ、依然として一部自転車を利用する方のマナーの悪さ、ルール無視が散見され、今年も自転車の関係する死亡事故も増加傾向にあることから、さらにこの種の運動を推進して「安全で快適な交通環境」に資する取り組みを展開していかなくてはと考えております。

むすびに会員及び賛助会員の皆様には、益々のご健勝、ご多幸及びご隆盛を祈念申し上げます。

(高橋 記)